

令和4年度第1回亀岡市総合戦略推進会議 議事要旨録

日 時:令和4年 8月25日(木) 13時00分～15時00分

場 所:亀岡市役所 602・603 会議室

出席者:鈴木康久委員長、川勝啓史副委員長、河原重好委員、多胡麻衣委員、田中健委員、
南本尚司委員、山本寛委員

議 題 1. 開 会

2. 委員長選出

3. 副委員長選出

4. 議 事

・地方創生事業に係る検証

5. 閉 会

1. 開会、政策企画部長あいさつ

2. 委員長選出

事務局

・委員長の選出を行う。

・要綱では、委員の互選によって定めるとしている。事務局としては、前任期に引き続き鈴木委員にお願いしたいが、いかがか。

～委員一同 異議なし～

事務局

・それでは、鈴木委員に委員長をお願いする。

委員長 あいさつ

・本日の議事では、昨年度実施した地方創生事業について、御意見をいただきたい。厳しい意見に加え、良い意見もいただけたらと思う。併せて、企業版ふるさと納税の寄附事業についても、事務局から説明があるが、かなりの金額を寄附いただいている。その寄附で実施した事業についても御意見をいただきたいので、よろしく願います。

・また事業によっては来年度以降も実施する事業があるため、いただいた御意見をもって新たに展開していくので、よろしく願います。

3. 副委員長指名

事務局

・次に副委員長の選出を行う

・要綱では、副委員長は委員のうちから委員長が指名することとしている。それでは委員長から御指名い

ただくようお願いする。

委員長

・副委員長は、前回に引き続き川勝委員にお願いしたい。

事務局

・それでは、川勝委員に副委員長をお願いする。

副委員長

・総合計画審議会の委員をしている。地方創生の取組は、総合計画の達成にとっても大事である。大切な資金を利用した各事業について、素晴らしい検証ができるようよろしく願う。

4. 議事

地方創生事業に係る検証(地方創生推進交付金)

○事業No.1「あなたとともに「心やすらぐ地域の暮らし」を～みんなが主役の地域振興事業～」について説明(事務局)

○事業No.1に係る質疑・意見

A 委員

・観光を切り口に移住・定住に繋げる必要がある。京都府観光総合戦略では、地域に興味を持ち、何度も観光してもらい、移住・定住に繋げることで観光が完結するとしている。京都府ではそれを踏まえ、昨年度から DMO と連携した取組を実施している。

・「京都府移住の促進及び移住者等の活躍の推進に関する条例」の見直しを行い、旧来は農村地域を対象としていたが、市街地に関しても、人口が減少している地域においては、移住促進特別区域として認定することを可能とした。引き続き亀岡市や DMO と協力しながら、交流の活性化、地域の活性化を進めていきたいと考えている。

委員長

・亀岡市は総合計画の策定時から、農山村への移住だけではなく、若い世代に住み続けてもらえるような多様な住み方ができるまちを目指してきた経過がある。条例が改正されたことによって、多様な住み方の実現に期待できる。

B 委員

・移住・定住事業に関しては、すぐに効果が出るわけではないため、本事業は令和7年度までだが、継続していくことが必要だと考える。

C 委員

・レンタサイクルを利用されている方をよく見かける。こうした方に向けて観光スポットを PR する必要がある。

あると考える。魅力的な観光を体験してもらうことで、利用者に“また来たい”と思ってもらえるのではないかと。

D 委員

・イベントを点で実施するのではなく、例えば、レンタサイクルを利用してアグリフェスタに行くといった、点で行っている事業を結ぶ仕掛け作りが必要である。

委員長

・観光の中身を広げながら、亀岡市に移住・定住してもらえるような仕組みを考える必要がある。

○事業No.2「子育て、子育てにやさしい」京都創生プロジェクト事業について説明(事務局)

○事業No.2に係る質疑・意見

E 委員

・女性の方にとって、子育てしながら働きにくい環境が未だにある。そのため子どもを安価で、安心して預けられるシステムの構築を行い、子どもを育てながら働けるまちを目指す必要がある。

・若者はどういった考えで転出していくのか、教えていただきたい。

SDGs 創生課

・子育て世帯の女性 14 名に対して調査を実施した。転出の理由としては、夫の仕事が関係するなど、仕事を理由に転出していることがわかった。

・また転出者の方から、亀岡市は定住の決め手に欠けるとの言葉があった。こうした点が課題だと考えている。

F 委員

・京都市から亀岡市へは、山越えをしないといけないので時間がかかるイメージであった。しかし実際には快速で 20 分程度である。京都市内から 20 分程で、自然豊かな場所に行けるのは非常に魅力的であると思う。

・若者が転出する原因は、働く場所が少ないことだと考える。首都圏企業へのアプローチを引き続き行い、サンガスタジアムやITなども活用し、アピールしていく必要がある。

委員長

・亀岡市は、京都市内へのアクセスが良いので、高校や大学の選択肢が多いことも強みである。

A 委員

・亀岡市は去年転入超過であった。コロナ禍で地方に目が向き、ふるさと納税、京都サンガ F.C. など、注目されている今がチャンスである。京都市内と比べると地価も安く、現在宅地開発も進んでいるため、南丹地域振興計画と連動して、実施しているアプローチをさらに進めていく必要がある。

○事業No.3「大河ドラマ「麒麟がくる」を契機にした「城下町」レガシープロジェクト事業」について説明(事務局)

○事業No.3に係る質疑・意見

B 委員

・大河ドラマ「麒麟がくる」の放映と同時に新型コロナウイルス感染症が流行したことで、厳しい状況であったと思う。しかし亀岡市と明智光秀の関係を広く周知し、知っていただくことができて良かったと思う。観光客数については厳しい結果となったが、観光関連事業者(旅行会社など)を中心にPRいただき、亀岡市を知ってもらうことができたので良かったと思う。

D 委員

・新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中で、よく事業を実施したと思う。実際、緊急事態宣言が発令された際は、外に人がほとんどいなかった。そんな中でこれだけの数字を出せたのはよくやったと思う。

C 委員

・戦国 VTuber などは、若い方に向けた良い PR になったと思う。しかしメディアでは、福知山市の方が明智光秀のまちと謳われている。そうしたことや、今回の数字を見て残念に思う。

商工観光課

・新型コロナウイルス感染症の影響を受けてしまった。KPI については、ききょうの里事業、丹波亀山城跡等の光秀ゆかりのスポットを合算した数値となっている。本能寺の変の舞台となった亀岡市だが、厳しい数字になってしまった。

委員長

・数字に関しては厳しい結果となってしまったが、少なくとも亀岡市と明智光秀の関係が広く定着したと感じる。これからは、定着したことを利用した取組に繋げてほしい。

E 委員

・光秀まつりの際、資料館を開放するなど、来られた方によく知ってもらうための企画を実施してはどうか。

商工観光課

・来年、光秀まつりは50周年を迎える。大きな節目にあたり、どのように実施するか検討中である。いただいた意見も含め、楽しんでもらえるような演出を考えていく。

○事業No.4「京都スタジアムを核とした賑わいづくり推進事業」について説明(事務局)

○事業No.4に係る質疑・意見

A 委員

・京都サンガ F.C.の J1 昇格の影響が大きかった。来場した方に試合やスタジアム以外で楽しんでもらう取組、例えばマルシェから実店舗に足を運んでもらえるような仕掛けが必要である。スタジアムを PR の場所としてさらに活用したい。

F 委員

・サポーターとしてよくスタジアムに足を運ぶ。やはり J1 昇格が大きな影響を与えたと感じる。ただ、ナイター終了後に営業しているお店が駅周辺に少ない。もっと文化的なイベントなどを実施してほしい。

B 委員

- ・亀岡市をアピールできるような土産物などを販売するべき。
- ・京都市内からすぐにいけるということを、もう少し知ってもらいたい。

(2) 地方創生事業に係る検証(地方創生応援税制に係る寄附(企業版ふるさと納税活用))

○事業No.5「第2期総合戦略推進事業」について説明(事務局)

○事業No.5に係る質疑・意見

E 委員

〈個別事業①〉スタジアムのピッチに立つと感銘を受ける。こうした取組が小学生にとって良い経験になると思う。サッカーのまちということを定着させるためには、スタジアムを活用した取組をさらに実施する必要がある。例えば市内少年サッカーチームを対象に、スタジアムで練習や試合ができる機会を創出するのはどうか。

〈個別事業②〉亀岡市は豊かな自然が強み。コロナ禍に需要が高まったアウトドアと結び付け、自然を生かしたアスレチックなど、多様な遊びの体制を整え、観光客の誘致を行ってほしい。

〈個別事業③〉不具合を改修できて良かった。亀岡運動公園には陸上競技場もあるので、そちらも随時整備してほしい。

委員長

・パブリックビューイングやラフティングイベントは、無料であるため参加しやすかったと思う。こうした参加しやすい取組からはじめ、まずは亀岡市の方に楽しんでもらうことで、サッカーや水に関する文化が醸成されていくと考える。

C 委員

〈個別事業①〉サンガ応援のぼりがプラスチック製なのは、環境先進都市を謳っている亀岡市としてどうなのか。もう少し別のやり方はできなかったのか。例えば市役所でも行っているように、紫の T シャツを着用して仕事をするなど、サンガのまちであるとともに、環境先進都市であることもアピールできたらと

思う。

F 委員

〈個別事業②〉ラフティングは体験してみると非常に楽しい。保津川は、こうした水辺スポーツに適していると思う。また高速道路の利用によるアクセスの良さをアピールしてはどうか。車で来ていただくことで、市内の観光地や飲食店などを回遊してもらえと思う。

委員長

・高速道路を使用して、八幡市からも約 15 分で亀岡市にアクセスすることができる。様々な手段で来ていただけるため、多様な観光の仕方をアピールできたらと思う。

D 委員

〈個別事業①〉新型コロナウイルス感染症が流行し始めた頃、スタジアムで運動会をした小学校があった。その小学生は、今でもスタジアムで運動会をしたことを自慢している。それほどスタジアムでの活動は、印象に残るのだと考える。現在成人式は、スタジアム内で実施しているが、大人になってからだけではなく、子どもを対象に、スタジアムの芝の上で活動できる取組を実施してほしい。

〈個別事業②〉千代川駅から施設への道中、案内板などが無い。もう少しアピールしてほしい。

委員長

・川の駅については、できて間もなく、施設のことを知らない人も多いと思うので、もっと周知が必要。

B 委員

〈個別事業①〉スタジアムツアーは、普段できない体験ができ、その素晴らしさを感じてもらえることができる、子ども達にとって良い取組だと思う。サンガ応援のぼりについては、風が吹くと危ないため、注意していただけたらと思う。

〈個別事業②〉川の駅亀岡水辺公園については、まだあまり知られていないと感じる。イベントがある日だけ賑わうのではなく、普段から癒しを求めて人が集まる、そんな施設にしてほしい。

〈個別事業③〉スポーツ観光を発展させていく必要がある。ハイキングなどを求めている人も多い。スタジアムを中心としたスポーツ観光を発展させ、それを移住・定住に繋げてほしい。

委員長

・多額の交付金と企業版ふるさと納税を活用して、それぞれの事業を展開した。実施した事業については、それぞれを文化に繋げる必要があると思う。スポーツにおいてはスタジアムができたことでスポーツ観光が発展し、昔から強かった水という分野では川の駅亀岡水辺公園ができたことにより、より力強い文化として発展してきている。これらの魅力を伝え、移住・定住に繋げてほしい。そのために何が必要かを考えながら各種事業の展開をお願いする。